

都市再生整備計画 事後評価シート

八幡駅前地区

平成31年2月

福岡県北九州市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	八幡駅前地区(地方都市リノベーション事業)			面積	82.5ha
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	2,901.5百万円	国費率	0.49		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路:八幡戸畑線、桃園尾倉1号線、桃園尾倉1号線交差点 公園:豊山公園、春の町一丁目公園、尾倉三丁目公園 高質空間形成施設:八幡駅前広場、東田西本町1号線昇降機、歩行者系サイン整備 地方都市リノベーション推進施設:市立八幡病院						
		提案事業	なし						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園:豊山公園 高質空間形成施設:歩行者系サイン整備	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし	—			—		
	新たに追加した事業	基幹事業	公園:小伊藤山公園	快適な都市空間づくりを行い、生活環境の魅力を高めるため。			事業を追加することで、目標達成にプラスの影響があるが、指標及び数値目標は据え置く。		
		提案事業	なし	—			—		
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
変更									

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	計画区域内居住人口	人	7,773	H24年度	7,630	H30年度	—	7,117	×	あり なし	八幡東区と同傾向である計画区域内の人口減少について、本事業により抑制することを目標とした。公共施設、道路や公園の再整備により、街なかの都市機能の向上や快適な生活環境づくりを行っているが、事業期間中に計画区域内に新たなマンション等の建設がなかったことなどにより、目標を達成することができなかった。	平成31年4月
指標2	災害時の患者収容者数	人	入院:439 外来:1,725 計:2,164	H24年度	入院:600 外来:2,765 計:3,365	H30年度	—	入院:708 外来:3,170 計:3,878	○	あり なし	市立八幡病院の再整備によって、病床の面積を広くしたことや平面駐車場を確保したことなどにより、災害時に受入可能な入院・外来患者数が増加し、災害医療の充実、住民が安心して暮らせるまちづくりに寄与している。また、周辺道路の整備によって、災害時の患者のスムーズな収容に寄与すると考えられる。	
指標3	JR八幡駅の年間乗降客数	千人	5,104	H24年度	4,898	H30年度	—	4,989	○	あり なし	JR八幡駅前広場や周辺道路の整備による車の駅へのアクセシビリティの向上や歩道の整備による歩行者の安全性の向上などが、年間乗降客数の減少抑制につながるものと考えられる。	平成31年6月

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	JR八幡駅半径1km圏内居住人口	人	16,920	H24年度				16,547			公園整備によって快適な生活環境が創出されたことや、市立八幡病院の再整備等によって街なかの都市機能が向上することなどにより、JR八幡駅半径1km圏内居住人口(対H24:98.4%)は、北九州市(同:97.4%)及び八幡東区(同:93.9%)の減少傾向と比較して、定住人口減少の緩和が図られた。	平成31年4月

4)定性的な効果発現状況												
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等	
モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	—			—	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—				
住民参加プロセス	・市立病院計画のパブリックコメントの実施 ・公園整備のためのワークショップの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた	—			● 今後も、地域住民と連携し、まちの活性化に取り組む。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—				
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	—			—	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—				

様式2-2 地区の概要

八幡駅前地区(福岡県北九州市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 子どもから高齢者まで多世代が、安心して豊かに暮らせるまちづくりを推進する		計画区域内居住人口	単位: 人	7,773	H24年度	7,630	H30年度	7,117	H30年度
目標1. 小学校跡地などの遊休地を有効活用し、老朽化が進む公共施設を再整備するなど、街なかの都市機能の向上や快適な生活環境づくりを行い定住人口減少の緩和を図る		災害時の患者収容者数	単位: 人	入院: 439 外来: 1,725 計: 2,164	H24年度	入院: 600 外来: 2,765 計: 3,365	H30年度	入院: 708 外来: 3,170 計: 3,878	H30年度
目標2. JR八幡駅から公共施設群への歩行者ネットワーク等を再構築し、ユニバーサルデザインによる人によさしい歩道や昇降機などの整備を行う		JR八幡駅の年間乗降客数	単位: 千人	5,104	H24年度	4,898	H30年度	4,989	H30年度
目標3. 子育て世代や高齢者・障害者が安心して豊かな生活を送るための環境として、安全・安心に視点をのいた公園施設の再整備を行い、住民の憩いの場を創出する									

■ 基幹事業[高質空間] 八幡駅前広場

■ 基幹事業[高質空間] 東田西本町1号線昇降機

■ 基幹事業[公園] 小伊藤山公園

■ 基幹事業[道路] 八幡戸畑線

■ 基幹事業[道路] 桃園尾倉1号線

■ 基幹事業[道路] 桃園尾倉1号線交差点

■ 基幹事業[公園] 尾倉三丁目公園

■ 基幹事業[公園] 春の町一丁目公園

■ 基幹事業[地方都市リノベーション推進施設] 市立八幡病院

〈凡例〉
基幹事業 (Yellow box)
関連事業 (Dashed box)

桃園尾倉1号線交差点

小伊藤山公園

市立八幡病院

<p>まちの課題の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 救急・小児・災害医療を担う市立八幡病院の移転建替えを行い、市民の安全・安心を支える医療体制が形成された。 ● 災害拠点病院として、ヘリポートの設置や、災害時に多くの患者を受け入れる施設整備がなされた。 ● JR八幡駅前広場等の整備、公共施設群へのアクセス道路や交差点の改良を進め、歩行者ネットワークの再構築や歩道の整備がなされ、生活環境が改善した。 ● 安全・安心に視点をのいた公園施設の再整備を行い、子育て世代や高齢者・障害者が安心して豊かな生活を送る環境が創出された。 ● 街なかの都市機能の向上や快適な生活環境づくりがなされたが、定住人口の減少緩和に十分な効果を発現していない。
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 街なかの都市機能の向上や快適な生活環境づくり ・市立八幡病院においては、近隣の文化施設と連携し、市民公開講座等を開催する。 ・小児患者を受け入れる病院として、体の病気だけでなく、育児不安、アレルギー相談、発達の心配に対応するなど子育て家庭への支援を行う。 ■ 歩行者ネットワークの再構築など生活環境の改善 ・国際文化交流の中心的エリアにふさわしい、外国人を含めた誰にでもやさしいサイン整備を行う。 ■ 住民の憩いの場の創出 ・引き続き、子どもだけでなく高齢者や障害者などが安全・安心に利用しやすい公園づくりを行うとともに、子どもを生み育てやすい環境づくりを行う。 ■ 定住人口の減少緩和 ・駅周辺の利便性を活かし、サービス付き高齢者住宅、ケアハウス、賃貸住宅など居住機能の誘致を促進する。